

yz008002	特記事項 平成 26,27 年噴火と災害	概要 適用
yz008002001) 平成 26 年 8 月 3 日の新岳噴火直後前田集落① yz008002002 H26/8 噴火前田② yz008002003 H27/5 新岳噴火直後 yz008002004 H27/5 番屋ヶ峰救助ヘリ yz008002005 H27/5 噴火本村港① yz008002006 島外避難前本村港② yz008002007 本村港より向江浜新岳③		【概要】 平成 26 年の噴火（現象：噴火、火山ガス） ・ 8 月 3 日 12 時 24 分頃に噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 800m 以上まで上がった。この噴火に伴い、山頂火口から数百メートルの範囲に大きな噴石が飛散した。新岳山頂火口の南西側から西側にかけてと東側で、低温の火砕流の痕跡を確認した。南西側では海岸近くまで火山灰や火山ガスによる樹木の変色を確認した。山頂付近では、新岳火口縁の西側に噴火に伴う新たな割れ目および、新岳火口の北側の一部がわずかに広がっていることを確認した。 ・ 二酸化硫黄の放出量は、12 月に 1,000～1,900 トンと多い状態で経過した。 ・ 火山灰を分析した結果、マグマが直接関与した噴火の可能性がある事が分かり、噴火警戒レベルは 3（入山規制）が継続。 平成 27 年の噴火（現象：噴火、地震、火映現象、火山ガス） ・ 1 月 24 日に一時的に地震が増加し口永良部島付近を震源とする地震（深さ 5 km）で、震度 1 を観測した。3 月 24 日以降、夜間に高感度カメラで新岳西側斜面の火映を観測した。3 月 25 日には、新岳西側の熱異常域で温度の上昇が認められ、火口内で新たな熱異常域を確認した。3 月頃から山体浅部を震源とみられる地震がやや増加し始め、島内の深さ 2～3 km を震源とする地震も時々発生した。5 月 23 日 08 時 00 分には規模の大きな地震が発生し、屋久島町口永良部島公民館で震度 3 を観測



yz008002008

無人期の道路被害①



yz008002009

無人期の道路被害②



yz008002010

その後の防災訓練

した。

・5月29日09時59分に爆発的噴火が発生し、黒灰色の噴煙が火口縁上9,000m以上に上がった。この噴火に伴い火砕流が発生し、新岳の北西側では海岸にまで達した。6月18日12時17分頃に噴火が発生し、口永良部島の東海上で、噴火に伴う小さな噴石及び降灰が確認された。屋久島町、西之表市及び中種子町で降灰を確認した。6月19日にごく小規模な噴火が発生した。

・8月上旬までは、火山性地震がやや多い状況だったが、次第に減少した。二酸化硫黄の放出量は、2015年5月初めまでは概ね1,000から4,600トンと多い状態だったが、噴火直前の5月10日以降は数百トンに減少し、噴火直後には1日あたり3,800トンと非常に多い状態だったが、以降次第に減少した。

・5月29日の噴火に伴い、噴火警戒レベルは3（入山規制）からレベル5（避難）に引き上げられ、全島民が即日島外避難となった。

・12月25日、口永良部島全域に発令されていた避難指示を一部を除いて解除し、住民の帰島が始まった。これにより、火口から2～2.5キロ圏の警戒範囲に含まれる地区などを除いて帰宅出来るようになった。

・平成28(2016)年6月14日、噴火警戒レベルがレベル5（避難）から3（入山規制）に引き下げられた。

・平成28(2016)年10月25日、寝待地区に出ていた避難指示が解除され2015年5月末の新岳噴火以来、島内に出されていた避難指示が約1年5か月ぶりに全て解除された。寝待地区の解

	除が遅れたのは、避難のために無人島となっていた間、豪雨による土砂崩れで道路が寸断されていたため。 【文献・資料】 文献①：気象庁（国土交通省）HP （http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/fukuoka/509_Kuchierabujima/509_index.html） 文献②日本経済新聞（2015 年 12 月 12 日） 文献③朝日新聞（2016 年 10 月 26 日） 【写真】 yz008002001)平成 26 年 8 月の噴火直後①（前田集落にて） yz008002002)平成 26 年 8 月の噴火直後②（前田集落にて） yz008002003)平成 27 年 5 月の噴火（一時避難所の番屋ヶ峰にて新岳を望む） yz008002004)平成 27 年 5 月の噴火（噴火後、番屋ヶ峰に救助のヘリコプターが来た） yz008002005)平成 27 年 5 月の噴火（島外避難前、本村港より向江浜を眺める①） yz008002006)平成 27 年 5 月の噴火（島外避難前、本村港より向江浜を眺める②） yz008002007)平成 27 年 5 月の噴火（島外避難前、本村港より向江浜を眺める③） yz008002008)平成 27 年 12 月帰島後（本村から湯向へ向かう一
--	---

	周道路の被害状況①) yz008002009)平成 27 年 12 月帰島後 (本村から湯向へ向かう一 周道路の被害状況②) yz008002010)平成 28 年度実施した防災訓練の様子 (番屋ヶ峰にて)
--	---